

産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成28年4月11日(月曜日)

午前10時 2分 開議

場 所 水戸市議会 第2委員会室

午前10時46分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

- ① 平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果について (商工課)
- ② スプリングフェスティバルin水戸2016について (観光課)
- ③ 水戸のラーメンまつりⅡ～炎のラーメンウィーク～について (観光課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	栗原文隆君	副委員長	小川勝夫君
委員	綿引健君	委員	鈴木宣子君
委員	田口文明君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(1名)

議長 村田進洋君

5 説明のため出席した者の職, 氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	小田木健治君	産業経済部 技監兼農業 環境整備課長	渡邊雅之君
商工課長	小林一仁君	観光課長	小川邦明君
農政課長	深澤和広君	農業技術 センター所長	清水健司君
公設地方 卸売市場長	綿引正治君		
水道事業者 水管理	檜山隆雄君	水道部長	関徳彦君
水道部参事	伊藤俊夫君	水道部参事兼 水道総務課長	小田木義弘君
水道部参事兼 経理課長	青木貴君	料金課長	島孝夫君

水道整備課長 橋 本 大 敬 君 給 水 課 長 岡 田 隆 君

浄水管理事務所 川 原 井 正 浩 君

農業委員会 江 幡 清 美 君 農業委員会 横 山 英 雄 君
事務局 事務局次長

6 事務局職員出席者

法制調査係長 井 原 真 彌 君 書 記 玉 田 誠 一 君

午前10時 2分 開議

○栗原委員長 おはようございます。定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

議事に入る前に4月1日付をもちまして人事異動がありましたので、これに伴います役職職員の紹介を願います。

それでは、別紙役付職員配置図に沿って、田尻副市長より、順次紹介を願います。

○田尻副市長 4月1日付で産業水道委員会を担当するということになりましたので、引き続きよろしく願いいたします。

○檜山水道事業管理者 4月1日付で水道事業管理者を拝命いたしました、檜山隆雄でございます。水道事業につきましても、安全でおいしい水をいつでも供給すること、そして健全経営を図って継続をすること、この2つが大きな命題だろうというふうに捉えてございます。それに向かいましてしっかり取り組んでまいり所存でございます。御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

○小田木産業経済部長 産業経済部長を拝命いたしました、小田木健治でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

産業経済部に異動になりました課長職を紹介いたします。

技監兼農業環境整備課長の渡邊雅之でございます。

○渡邊産業経済部技監兼農業環境整備課長 渡邊でございます。よろしくお願い致します。

○小田木産業経済部長 商工課長の小林一仁でございます。

○小林商工課長 小林と申します。よろしくお願い致します。

○小田木産業経済部長 農政課長の深澤和広でございます。

○深澤農政課長 深澤です。よろしくお願いいたします。

○小田木産業経済部長 農業技術センター所長の清水健司でございます。

○清水農業技術センター所長 清水でございます。よろしくお願い致します。

○小田木産業経済部長 どうぞよろしくお願いいたします。

○関水道部長 水道部の異動のございました課長以上の職員を御紹介申し上げます。

参事兼水道総務課長の小田木義弘でございます。

○小田木水道部参事兼水道総務課長 小田木でございます。よろしくお願いいたします。

○関水道部長 参事兼経理課長の青木貴でございます。

○青木水道部参事兼経理課長 青木でございます。よろしくお願いいたします。

○関水道部長 料金課長の島孝夫でございます。

○島料金課長 島でございます。よろしくお願い致します。

○関水道部長 水道整備課長の橋本大敬でございます。

○橋本水道整備課長 橋本でございます。よろしくお願いいたします。

○関水道部長 給水課長の岡田隆でございます。

○岡田給水課長 岡田でございます。よろしくお願いいたします。

- 関水道部長 浄水管理事務所長の川原井正浩でございます。
- 川原井浄水管理事務所長 川原井でございます。よろしくお願いいたします。
- 関水道部長 どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 江幡農業委員会事務局長 異動になりました農業委員会事務局の課長職の役付職員を御紹介いたします。
事務局次長の横山英雄でございます。
- 横山農業委員会事務局次長 横山でございます。よろしくお願いいたします。
- 江幡農業委員会事務局長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 小林商工課長 それでは続きまして、商工課の新たな役付職員を御紹介いたします。
商工労政係長の小野瀬嘉行でございます。
- 小野瀬商工労政係長 小野瀬でございます。よろしくお願いいたします。
- 小林商工課長 商工課は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 小川観光課長 続きまして、観光課の新たな役付職員を御紹介いたします。
課長補佐の川俣和彦でございます。
- 川俣観光課長補佐 川俣と申します。よろしくお願いいたします。
- 小川観光課長 事業係長の佐藤健太でございます。
- 佐藤事業係長 佐藤健太と申します。よろしくお願いいたします。
- 小川観光課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 農政課で異動がありました、新たな役付職員を紹介いたします。
副参事で、水戸市農業公社事務局長派遣の久米茂です。
- 久米農政課副参事 久米でございます。よろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 課長補佐の後藤俊之です。
- 後藤農政課長補佐 後藤です。よろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 課長補佐兼内原農政係長の鈴木秀徳です。
- 鈴木農政課長補佐兼内原農政係長 鈴木でございます。よろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 企画係長の稲葉大貴です。
- 稲葉企画係長 稲葉です。よろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 ふるさと農業センター所長の長谷川祐紀です。
- 長谷川ふるさと農業センター所長 長谷川です。よろしくお願いいたします。
- 深澤農政課長 どうぞよろしくお願いいたします。
- 渡邊産業経済部技監兼農業環境整備課長 農業環境整備課の新たな役付職員につきまして御紹介させていただきます。
集落排水係長、川崎高義でございます。
- 川崎集落排水係長 川崎です。よろしくお願いいたします。
- 渡邊産業経済部技監兼農業環境整備課長 土地改良係長、溝江誠でございます。
- 溝江土地改良係長 溝江です。よろしくお願いいたします。

- 渡邊産業経済部技監兼農業環境整備課長 よろしく願いいたします。
- 清水農業技術センター所長 それでは、農業技術センターの新たな役付職員を御紹介させていただきます。
次長の岩間雅徳でございます。
- 岩間農業技術センター次長 岩間です。どうぞよろしく願いいたします。
- 清水農業技術センター所長 以上でございます。よろしく願いいたします。
- 小田木水道部参事兼水道総務課長 それでは、水道総務課の役付職員の異動者を御紹介いたします。
副参事兼課長補佐の梶山哲でございます。
- 梶山水道総務課副参事兼課長補佐 梶山です。よろしく願います。
- 小田木水道部参事兼水道総務課長 副参事兼課長補佐の松村透でございます。
- 松村水道総務課副参事兼課長補佐 松村です。よろしく願いいたします。
- 小田木水道部参事兼水道総務課長 課長補佐兼工事管理係長の川野輪俊光でございます。
- 川野輪水道総務課長補佐兼工事管理係長 川野輪です。よろしく願いいたします。
- 小田木水道部参事兼水道総務課長 総務係長の吉田淑人でございます。
- 吉田総務係長 吉田です。よろしく願いいたします。
- 小田木水道部参事兼水道総務課長 以上でございます。よろしく願いいたします。
- 青木水道部参事兼経理課長 続きまして、経理課の異動になりました役付職員を御紹介いたします。
管財係長の戸崎幸春でございます。
- 戸崎管財係長 戸崎でございます。よろしく願いいたします。
- 青木水道部参事兼経理課長 以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。
- 島料金課長 続きまして、料金課の異動となりました新たな役付職員を紹介いたします。
課長補佐の櫻井智則でございます。
- 櫻井料金課長補佐 櫻井です。よろしく願いいたします。
- 島料金課長 検針係長の青木伸一でございます。
- 青木検針係長 青木でございます。よろしく願いいたします。
- 島料金課長 以上でございます。よろしく願いいたします。
- 橋本水道整備課長 続きまして、水道整備課の役付職員の異動者を御紹介いたします。
課長補佐兼計画係長の石川陽介でございます。
- 石川水道整備課長補佐兼計画係長 石川でございます。よろしく願いいたします。
- 橋本水道整備課長 課長補佐の高瀬賢一でございます。
- 高瀬水道整備課長補佐 高瀬です。よろしく願います。
- 橋本水道整備課長 整備第1係長の山田直之でございます。
- 山田整備第1係長 山田でございます。よろしく願います。
- 橋本水道整備課長 整備第2係長の折本秀明でございます。
- 折本整備第2係長 折本です。よろしく願いいたします。
- 橋本水道整備課長 以上でございます。よろしく願いいたします。

○川原井浄水管理事務所長 続きまして、浄水管理事務所の役職の職員の紹介をいたします。

次長、林のほうですが、公務出張のために本日欠席しております。

浄水管理事務所、開江・楮川浄水場長、栗橋甲一でございます。

○栗橋開江・楮川浄水場長 栗橋でございます。よろしくお願いいたします。

○川原井浄水管理事務所長 続きまして、浄水管理事務所施設係長、三輪修でございます。

○三輪施設係長 三輪です。よろしくお願いいたします。

○川原井浄水管理事務所長 どうぞよろしくお願いいたします。

○横山農業委員会事務局次長 続きまして、農業委員会事務局の新たな役付職員を紹介させていただきます。

農政係長の木村泰徳でございます。

○木村農政係長 木村です。よろしくお願いいたします。

○横山農業委員会事務局次長 以上でございます。よろしくお願いいたします。

○栗原委員長 次に、当委員会の担当書記がかわりましたので自己紹介を願います。

○井原法制調査係長 井原と申します。よろしくお願いいたします。

○玉田書記 玉田と申します。よろしくお願いいたします。

○栗原委員長 以上で、人事異動に伴う役職者の紹介を終わります。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果について、執行部より説明願います。

小林商工課長。

○小林商工課長 平成27年度水戸市スーパープレミアム商品券事業の実績及び効果につきまして、商工課提出の資料により御説明を申し上げます。

この水戸市スーパープレミアム商品券事業につきましては、市内消費の拡大によります地域経済の活性化を目指しまして、水戸商工会議所との協働により実施したものでございます。あわせて子育て世帯、高齢者への生活支援、購入補助といたしまして、県補助によります子育て家庭応援、シニア応援、市独自の多子世帯応援の割引販売を実施したものでございます。

初めに、1の販売状況についてでございますが、一般販売分につきましては8万4,675セットの商品券を販売し、生活支援、購入補助による割引販売につきましては、子育て家庭応援割引販売分としまして7,904セット、シニア応援割引販売分としまして1万3,195セット、多子世帯応援割引販売分としまして3,769セットを販売いたしました。合計で10万9,543セットを販売して、総額面額13億1,451万6,000円の商品券を発行したものでございます。

次に、2の利用状況についてでございますが、平成27年8月21日から平成28年1月31日までを利用期間といたしまして、13億1,077万8,000円が利用され、その利用率は99.72%でございました。

次に、3の購入者アンケート調査の結果、効果分析についてでございます。

(1)のアンケートの実施概要でございますが、水戸市スーパープレミアム商品券の購入者を対象としたし

まして、商品券の販売時に配布しました取扱店一覧に記載したアンケートはがきを返信されたものを回収しまして、集計、分析をいたしました。調査期間は平成27年8月21日から11月30日まででございまして、調査期間に回答があったもののうち有効な3,327件を対象としてまとめております。(2)のアンケートの調査内容及び結果の概要といたしましては、商品券を主に利用した店舗につきましては、食料スーパー、総合スーパーなどで一番多く利用され、次いで飲食店、食事処、衣料品店でございました。

商品券の利用目的につきましては、ふだんの買い物で56.3%で、商品券をきっかけに購入した商品などが43.7%となっております。

裏面をごらんいただきます。

これら利用目的別の商品券利用額、現金等の追加金額でございますが、ふだんの買い物であった場合には追加した金額が566万4,000円の20.9%に対し、商品券をきっかけに購入した商品などでは追加した金額は791万8,000円の32.2%と高くなっております。

次に、下段の商品券をきっかけに購入した商品などの代表的な購入品でございますが、商品券の利用額で見ますと衣類、寝具、家電製品、外食の順で商品券が利用されており、追加した金額が多かった順では家電製品、衣類、寝具の順となっております。さらに、1万円以上の商品、サービスを購入した方の割合は43%でありまして、その購入品として一番多かったのは衣類、寝具、次いで家電製品の順となっております。

続きまして、(3)のアンケート結果の分析といたしまして①の商品券事業の効果につきましては、ふだんの買い物での利用が商品券利用額全体の6割弱を占めておりまして、生活支援に利用された側面が強かったものと考えられます。また、商品券利用額全体の4割を超える方が商品券をきっかけに購入した商品などとお答えいただいております。さらに、商品券の利用額と追加した金額の構成比を見ますと、ふだんの買い物よりも商品券をきっかけに購入した商品などにおける追加金額の割合が多く、約3割の追加支出がございました。

②の商品券が主に利用された業種を見ますと、食料スーパー、総合スーパーなどが突出して高く、次いで飲食店、食事処、衣料品店でございました。商品券をきっかけに購入した商品などで見ますと、衣類、寝具、家電製品、外食の利用額が高く、また追加支出も見られたことから、消費喚起効果が高かったものと考えられます。

③の消費喚起効果の推計でございますが、平成27年12月末での総利用額10億5,100万円をもとに算出した本事業費の消費喚起効果は、商品券をきっかけに購入した商品などの割合43.7%、それから商品券に追加した金額の割合20.7%から約6億7,700万円と推計されまして、最終の総利用額13億1,077万8,000円に対する消費喚起効果は約8億4,400万円と推計されます。

これらのことから、④の分析のまとめとしまして、今回のプレミアム商品券事業によります効果は生活支援が主体となっている一方で、消費喚起にも約8億4,400万円の効果があったことから、地元消費喚起及び地域経済活性化に大きく寄与したものと考えられます。また、利用された業種等からは食料スーパーなどを初め、衣類や家電製品などの一部の業種、商品、サービスに集中していた状況が見られたことから、より広範に経済効果が行き渡る方策などを検討していくことが必要とまとめており、今後関係機関等と十分検

討を進めてまいります。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 内容について何か御質問等がございましたら、発言を願います。

鈴木委員。

○鈴木委員 昨年、国からの大きな2割増しの支援があって、このように今お聞きしましたら本当はかなり効果があつたように見受けられます。水戸市内の消費喚起ということで大きな目玉だったと思います。また、職員の皆様も大変な思いで取り組まれたと思います。本当に感謝申し上げます。

これからなんですけれども、先ほどの一番最後の④の分析のまとめというところであったかと思うんですけれども、これからの方策を今後検討していくということなんですけれども、もう少し詳しく、従来水戸市もプレミアム商品券を取り扱っていましたが、従来に戻していくのか、また例えば国にこれだけの効果があつたということで要望していくのかとか、そういうちょっと先行きがわかれば教えていただきたいと思えます。

○栗原委員長 小林商工課長。

○小林商工課長 ただいまの鈴木委員の御質問についてでございますが、国に要望するスケジュールとかというのは現在のところは予定はないんですが、今後事業主体であります水戸商工会議所さんですとか、あとは地元の商店街の方など、よりたくさんの方の意見も聞きながら、どういうふうに対応していくかということも十分検討して進めてまいりたいと考えております。

○栗原委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 わかりました。この商品券を買うお金がたんす貯金になっていたりストックしたりとかというのが、それが商品券を買うことによって皆様が買い物されたということで、やはり経済の流れはお金をどれだけ出していただくかということが大事かと思えますので、水戸市においてもやはり積極的に国に、28年度予算はあれですけれども、9月の臨時国会とかもありますので、ぜひそちらに向けて積極的な取り組みをしていただきたいと最後に要望いたします。

以上です。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 小林課長のほうから細かく説明いただいて、ありがとうございます。

初めてなので、なかなか難しいところもあるかと思うんですけれども、本当にね、この結果、まとめを見ても、また今質問、お話のあつたようにいろいろ経済効果が出てきたというようなことで、これはいわゆる消費の刺激策というのは一つの誘導する部分なので、要は、一番基本的に大事なものは、これまた国のほうで、そういう地方自治体を含めてこういうのをまた繰り返しやっていくということも一つの方法かもしれないんですけれども、一番大切なのは、ものを売る小売業とか、例えばデパートも含めたそういうところは絶えず企業努力をしているわけですね、一生懸命売ろう、買ってもらおうと。ですから、それが一番大事なんだということを、例えば皆さん方は担当は忘れちゃいけないと。やっぱり首に縄をつけてお客さんを自分に買いに来てくれるような感じのところもあるわけですよ。いわゆるメリットがありますけれども、でも普通日常

通常的にその商店街とか小売業が自分の店に来てもらおうという努力をしないといけない、それを忘れちゃだめだと。絶えず何かそういう他力的な力によって、その商店街とか小売業が成り立っているということでは、将来的に例えば他の市町村の商店街との競合に負けてしまうというようなことにつながってくるのかなと。

これ自体もね、水戸市だけがやっているんならいいんですけども、どこの市町村でもやっているわけですから、全国的にこういうような刺激にはなったんですけども、それをどんな形で次につないでいくかということが私は大事だと思うので、それには各地域の個性とか環境とか全部違うと思うので、そういうものをきちっと担当が精査しながら、これを次にどう生かすかということを作る現場に対して提案していただきたいと思います。ぜひそういうことも踏まえて今後頑張って取り組んでいただきたいというふうなことを意見として述べておきます。

○栗原委員長 意見ですね。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、次に、スプリングフェスティバル in 水戸 2016 について、執行部より説明をお願いします。

小川観光課長。

○小川観光課長 観光課提出の、スプリングフェスティバル in 水戸 2016 についてを御参照いただきたいと思います。

現在5月8日までのさまざまなイベントをスプリングフェスティバル in 水戸 2016 として開催しております。

水戸の桜まつりは4月15日まで、千波公園や桜山、桜川、黄門さんの漫遊さくら堤などを会場として開催しており、千波湖畔や旧県庁前のお堀の桜のライトアップなどを行っております。

また、かたくりまつりにつきましては、昨日4月10日までかたくりの里公園で開催してまいりました。

水戸のつつじまつりは4月16日から5月8日まで偕楽園において開催し、4月29日は偕楽園での野点茶会、水戸黄門漫遊一座との記念写真撮影を実施してまいります。

森林公園フェスティバルは4月29日から5月8日まで開催し、春の植物観察会や森のクイズラリーなどを実施いたします。

植物公園フェスティバルは5月3日から8日まで開催し、花のラベルづくりやロードトレインなどのイベントを実施いたします。

これら春の訪れを楽しめる花の名所などを無料で回遊できる花の名所漫遊バスを運行してまいります。

桜の名所でございます六地藏寺や護国神社、青柳市民体育館の黄門さんの漫遊さくら堤などを結ぶ漫遊バスにつきましては、先日2日土曜日に運行し好評を得てまいりました。

つつじまつりの花の名所漫遊バスは、5月3日に弘道館や偕楽園などを結ぶ日本遺産ルートと、徳川ミュージアム、植物公園、森林公園を結ぶやまつつじルートの2ルートを運行いたします。

また、この次に御説明申し上げますが、スプリングフェスティバルの期間中には水戸のラーメンまつりⅡ

～炎のラーメンウィーク～を開催いたします。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 内容について何か御質問等がございましたら、発言をお願いします。

鈴木委員。

○鈴木委員 ちょっと1点だけお聞きしたいんですが、花の名所漫遊バス運行ですが、この時間とかというのが少し詳しくわかれば教えていただきたいと思います。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 第一便につきましては、午前9時に出発しております。それで1日10便運行しております。3台のバスで回しております。最終便につきましては、17時30分着ということで運行してございます。大体1周につきまして1時間15分で回るという運行ということになってございます。

○栗原委員長 いいですか。

ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○栗原委員長 ないようですので、次に水戸のラーメンまつりⅡ～炎のラーメンウィーク～について執行部より説明をお願いします。

小川観光課長。

○小川観光課長 水戸のラーメンまつりにつきまして御報告いたします。

観光課提出の資料をごらんいただきたいと思います。

水戸のラーメンまつりは、日本で初めてラーメンを食したといわれる黄門さまのゆかりの地水戸におきまして、全国有名ラーメン店を集めたイベントを開催し、本市への観光客の誘致とにぎわいづくりを図ることを目的といたしまして開催します。昨年に続きまして、2回目の開催となります。

日程は、5月3日、祝日の火曜日から8日日曜日までのゴールデンウィークのうち6日間開催いたします。

場所につきましては、千波公園でございます。詳細な場所につきましては、千波湖西駐車場で開催いたします。

内容といたしましては、飲食エリアに御当地ラーメンコーナーとして全部で12のブースにラーメン店が出店されます。

詳細につきましては、裏面2ページをごらんいただきたいと思います。

北は北海道から、南は九州まで、県外店8店舗と、それに加えて県内店では2店舗が連携して一つのオリジナルラーメンをつくるブースが4ブース出店いたします。水戸からは龍のひげや麵屋むじゃきといった行列ができる店舗が参加いたします。

1ページにお戻りください。

飲食エリアには水戸のグルメコーナーやお土産コーナーも設置してまいります。また、ステージイベントも開催して会場を盛り上げてまいります。

宣伝につきましては、記載のとおり電子媒体の活用やチラシなどの設置などによりまして県内外にPRしてまいります。

チケットにつきましては、既に前売りの販売を行っており、全国のセブンイレブンと、ウェブのセブンチケットで取り扱っております。ぜひ産業水道委員会の皆様にも御来場いただきますとともに、関係者の皆様にも御周知いただきますよう御協力のほどお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

○栗原委員長 御質問ございますか。

鈴木委員。

○鈴木委員 昨年が第1回目ということで、私の周りの方たちにはすごい好評でよかったと思います。もし市のほうで市民の皆さんの反応とかそういったのが、もし入っていればで結構なんですけれども、お聞かせいただきたいと思います。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 書面等でもお褒めの言葉とかいただいていた部分もでございます。数字につきましては、昨年4万7,000杯ということで目標を大きく上回ったところでございます。ただ、会場につきまして、下の面がぬかるんでしまいました。その点の改良につきまして、今年度は下が舗装されています千波湖西駐車場のほうで開催してまいるところでございます。

○栗原委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 ありがとうございます。

あとですね、これはちょっと要望に近いんですけども、先ほど課長のほうからも、日本で初めてラーメンを食べたのが水戸黄門さまということで、どういうラーメンを食べられたのかというのもまた、これは今年はちょっと無理なので、それに近いものを一つのアピールのものとして、一番最初に食べたラーメンが中国から渡ってきてこうだったとか、こういうラーメンを食べられたとか、私が聞いているのは何かつけ麺的なものを食べられた、これはちょっと事実かどうかはわからないんですけども、そういったものもこのラーメン店を皆さんにアピールしていく中で、歴史をしのぶじゃないですけども、そういうのもちょっと調べていただけたらなと、それをまた生かしていただけたらなと思います。これは要望です。

以上です。

○栗原委員長 ほかにございせんか。

内藤委員。

○内藤委員 ちょっとね、去年は何店舗出たんだっけか、ちょっと俺、記録ないので。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 昨年も12店舗でございまして、県外から8店舗、県内から2店舗が連携した店舗が4ブース出ておまして、合計12ブース出ております。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 これ今年の見るとね、初というのが5件あるよね。となると去年出ている今年出ない、それとも去年はいっぱい出られなくて今年初めて出るとなったのか、その辺ちょっと。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 2回目ということでございますので、興味を引いていただくために、味の濃さですとか

ラーメンの種類、それを分散させたために新たな店舗に出店いただいたという経緯がございます。ですので、昨年出店したけれども今年はお店していないという店舗が5店舗ということでございます。

○栗原委員長 内藤委員。

○内藤委員 そうすると、新しいの5店舗ふえて、去年やった方が出ない方もいるということだね。その方はお客の出入りも少ないから出ないというのではなくて、こういう新しい方が出たいので、去年はやったけれども、今年も出たかったけれどもこの新しい方が出るので今回は出ないということなのかな。

○栗原委員長 小川観光課長。

○小川観光課長 資料の3番、協力のところに、株式会社ラーメンデータバンクという記載がございますけれども、このラーメンデータバンクを介しまして全国からラーメン店のほうの調整を行っております。12店舗というのがキャパ的に妥当な数字でございます、出たくないというより、そこの会社で水戸市からの要望で見合った店を選択してもらった次第でございます。

○内藤委員 わかりました。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 去年も大盛会ということで、4万7,000杯売れたということだね、本当に一つの刺激的な新たなスタートということでよかったなと私も思っております。それで、出店を見ると地方がありますけれども、水戸は先ほど説明があったように並ぶような店が出ているというお話で、それもまた結構だと思うんです。ただ、今鈴木委員さんが指摘されたように、やはりこの冒頭、目的にラーメンを日本で一番最初に食べたということで、水戸藩ラーメンというのがあるよね。そういうのが出ていないというのも寂しいし、本来水戸藩ラーメンやっているところに行くとかわかるんだけど、例えばネットで探しましたなんてラーメンなんか食っているときに来る人がいるんだよね、群馬県から来ましたとかと言って。

やはりいわゆるもうけとか利益とかPRも大切なんだけれども、むしろ付加価値とかそういうものをつけていくんだったら、やっぱり公的資金を出してサポートしている以上、やはり鈴木委員さんが言っているように、水戸になじみのあるようなPRとか、また水戸藩ラーメン1,000円で売っているからね、750円では売れないかもしれないんだけど、そういうものをきちっとこの中に組み込んでいくということが私は大切なんじゃないかと思えますよ。ですから、来年度で結構ですから、ぜひ水戸藩ラーメンをやはりこの中に水戸の手印として出すべきかなと、ラーメンまつりをやるんだったらね。そういうものを私も鈴木委員さんと同じように要望をしておきます。

以上です。

○栗原委員長 そのほかございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より、何かございましたら発言をお願いします。

渡辺委員。

○渡辺委員 最初の委員会ということもありまして、また今回水道部さんなんか非常に新しい新任の課長さ

んが多かったし、また観光のほうとか農業関係でも新しい方、商工も入っていらっしゃったということで、今どちらかというこの産業水道委員会、観光商工がスポットが当たっていて、これからも1年間大変だなと思うんですけども、毎年私言っているんですけども、ぜひ課長さんにおかれましては、新しい方には、自分のセクションの中ではこれだけは必ず今年1年で達成するぞというような目標を立てていただきたいんです。ややもするとね、ただ単に予算を消化するための1年間というようなことではなくて、やっぱり創造性を持った商社的な発想を持ったそういう取り組み、目標を掲げていただければと思います。例えば商工でいえば結構いろいろリノベーション事業もあるし、またさまざまな市民会館の建設に合わせたような商工、商店街の取り組みとかそういうものもどんどんサジェスチョンしながら、何か一つそういう中でこれだけはどうしてもこのラインまで達成させようというような目標を、それぞれの課でぜひ立てて取り組んでいただければというようなことを要望しておきます。

○栗原委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○栗原委員長 それでは、以上を持ちまして、本日の産業水道委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時46分 散会